



株式会社 長大

人・夢・技術

News Release

2020年2月13日

株式会社 長大

ラオス国大手ゼネコンLCC社との共同事業実施に合意

豊富な自然資源を生かして、持続可能な地域開発モデル構築へ

地域開発 CSV プロジェクトに向けて包括的な覚書締結

日本のインフラ・システムの輸出、ラオス国周辺のエネルギー需給の確保にも貢献

株式会社長大(東証一部上場、証券コード9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」)は、羅宇(ラオス)国ビエンチャンに本社を置くゼネコン LUANGPASEUTH CORPORATION(CEO/President Mr. Bounleuth LUANGPASEUTH。以下「LCC 社」)と共に、同国とりわけ北部地域に位置し中国とミャンマーに国境を接するルアンナムター県を対象とした複数のインフラ開発事業(ラオス地域開発 CSV プロジェクト)に共同で取り組むことで合意いたしました。

2月10日に、ルアンナムター県で執り行われた本覚書の調印式には、当社の井戸昭典・取締役専務執行役員事業推進本部長が出席、LCC 社 Bounleuth(ブンレット)社長と共に、ルアンナムター県副知事の Mr. Phomasouk VILAYKOUN 氏、東洋大学アジア PPP 研究所(東洋大学 APPPI)所長のサム田淵教授が立会人として席を並べ、覚書にサインいたしました。また、本調印式には、国連欧州経済委員会(UNECE:United Nations Economic Commission for Europe)からPPP 推進局担当次長のクラウディオ・メサ氏(Claudio Meza)が同席しました。

本覚書では、ラオス国で、LCC 社が進めるSDGs 開発に資する複数のインフラプロジェクトにおいて、各社のそれぞれの強み(LCC 社:同国でSDGs 開発に資する複数のインフラ事業を展開、長大:SDGs 開発を支える日本の質の高いエンジニアリングサービスや投資を含むファイナンスサービスの提供)を活かして協働することを企図しています。

東南アジアの貧困国ラオスの中で最も貧困な地域の一つルアンナムター県においては、同国最大級の森林保護地域として指定されているナムハー(NamHa)の森や17の多様な少数民族など、地域の自然資源を活かした持続可能な開発が求められており、東洋大学 APPPI が地域再生支援プログラム(RDAP:Regional Development Advisory Program)のもと、2月10日に東洋大学からルアンナムター県に対して「Regional Development Advisory Program For Luang Namtha Province, Lao PDR」(地域再生支援プログラムに関する報告書)を提出。クラウディオ

オ・メサ氏による「ピープル・ファースト PPP」の講演の後、当社はローカル企業の LCC 社と包括的な MOU を締結、ナムタ(Namtha)カルチャーパーク、ナムロン川水力発電事業群、高速道路、物流拠点など複数事業を検討・開発していくことで合意しました。

当社はこれまで、雇用不足と和平問題が根深く存在する比国ミンダナオ島において、同島北東部カラガ地域の中心都市ブトゥアン市を拠点とし、同市に本社を置くエクイパルコ・コンストラクション・カンパニー(ルーベン・ジヤビエール・CEO)らと共に、様々な事業を通して地域の経済開発に貢献して参りました。

このブトゥアン CSV プロジェクトでは、経済性に重きを置いて、いわゆるバリュー・フォー・マネー(VFM: Value for Money)を評価軸にした伝統的な PPP に対して、UNECE が SDGs の達成に貢献する PPP として考えている、「人」を中心に置き、バリュー・フォー・ピープル(Value for People)という新たなアプローチに基づく「ピープル・ファースト PPP」を提唱、推進しようとしています。このブトゥアン CSV プロジェクトは、2017 年に、UNECE からピープル・ファースト PPP のベストプラクティスの一つに選定されていますが、今回のラオス地域開発 CSV プロジェクトはこれに続く第二弾の取組みとして、UNECE 関係者からは改めて、当社のラオス地域開発 CSV プロジェクトがこのピープル・ファースト PPP に沿った内容であり、今後本プロジェクトの進捗を定期的にフォローしていきたいと評価する旨の発言がありました。

このように、当社は、SDGsに大きく貢献する開発ポテンシャルを有するラオス国ルアンナムター県に先行して進出し事業を展開する企業として、日本政府が推し進める「インフラ・システム輸出」にも沿う形で事業の推進を図り、日本や日本企業とのパイプ役としての機能を担い、引き続き、日本の政府系機関や民間企業の参画機会を最大限に増やしつつ、ルアンナムター県及び周辺エリアをはじめ、ラオス国の経済発展に強く貢献していきたいと考えております。

今後、当社は LCC 社と共に、ナムロン川水力発電事業群について、本年中を目途に事業可能性調査を行う予定です。調査段階から、経済産業省や国際開発機構(JICA)といった日系政府機関の協力・支援を得ながら、日本のインフラ・システムの輸出、日本のエネルギー需給の確保にも貢献して参ります。

以上

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

<p>宗広裕司 (むねひろ・ゆうじ) 株式会社長大 社会創生事業本部 新エネルギー技術部長</p> <p>Eメール: munehiro-y@chodai.co.jp 電話: 03-3532-8623</p>	<p>山田健史 (やまだ・たけし) 株式会社長大 社会創生事業本部 新エネルギー技術部 専門技師</p> <p>Eメール: yamada-ta@chodai.co.jp 電話: 03-3532-8623</p>
---	---

■参考資料:

1. 当日の写真 (解像度が高いデータは別途ご提供いたします)



▲覚書調印後の全体写真



▲ 覚書調印の様子

(前列に着座する右側より、LCC 社ブンレット社長、ルアンナムター県官房長、井戸取締役専務執行役員)

Vientiane Times



The Memorandum of Understanding is signed in Vientiane.

Laos, Japan ink deal on tourism development in Luang Namtha

Times Reporters

Luangpaseuth Corporation has signed an agreement on economic cooperation with the Chodai Group from Japan for a sustainable tourism and infrastructure development project in Luang Namtha province.

A Memorandum of Understanding on the project was signed recently in the province by the President of Luangpaseuth Corporation Mr Bounleuth Luangpaseuth and a representative of the Chodai Group, Mr Akinori Ido.

The signing was witnessed by provincial Deputy Governor Mr Khamlay Sipaseuth.

Luang Namtha has a strategic trade border with China, which has the world's second largest economy. The province contains the Nam Ha National Protected Area covering over 200,000 hectares, and a wealth of natural resources, and is home to 17 ethnic groups.

These features mean Luang Namtha is central to the development of the province's priority sectors such as ecotourism related to the use of sustainable natural resources, and clean agriculture.

A survey focuses on the improvement of infrastructure and facilities to strengthen domestic and foreign trade and investment, especially in telecommunications and the rollout of a 5G network.

At a recent meeting, participants heard about the outcomes of a survey and study on sustainable tourism and infrastructure development in Luang Namtha, presented by a team from Toyo University in Japan.

They also heard about sustainable development in the form of public-private partnership (PPP), presented by the United Nations Economic Commission for Europe (UNECE), which explained that PPP developments had been successfully implemented in many countries.

▲ ビエンチャン・タイムズ紙(2020.2.12)での紹介記事

2.LCC 社の概要

Luangpaseuth Corporation (LCC)

LUANGPASEUTH CONSTRUCTION SOLE CO., LTD

- Planning, Design and Construction of Private and Government facilities

NAM LONG POWER COMPANY, LTD

- First private sector hydropower plant in Lao PDR undertaken solely by domestic investors.
- Installed capacity 5.6MW and commissioned in early 2014. Joint venture with EDL.

NAM LONG 2 ELECTRIC COMPANY, LTD

- Under Construction project with 9.5MW installed capacity.
- Joint venture with EDL

LCC SUPPLY (THAILAND)

- Products supply, Services support and Intermediaries for construction

LUANGPASEUTH TOURISM COMPANY, LTD

- Tour Provider and Organizer
- Nam Long Eco-Lodge and Restaurant
- Namtha Cultural Park (Concession right of 35ha for 50years.)

LUANGPASEUTH TRADING

- Have concession right of 23ha. to develop Logistic and Trading hub or River Port

EV Lao
EV Lao CO., LTD

- MOU with Thailand BRG Group to import of electric vehicles in Laos.
- Already established 20 Charging Stations in Vientiane and planning up to 200 within 2020.

3

3.ラオス国で取組む地域開発 CSV プロジェクト

ラオス国で取組むCSVプロジェクト群

【2020年2月現在】

東南アジアの貧困国ラオスで最も貧困な地域のひとつルアンナムター県において、NamHaの森や17の多様な少数民族など、地域資源の付加価値を高める提案を東洋大学地域再生支援プログラム(RDAP)と連携して実施。**長大はローカル企業LCC社と包括的なMOUを2/10に締結**、Namthaカルチャーパーク、水力発電、高速道路、物流拠点など複数事業を検討・開発中。



東洋大学のCSV報告書(2月10日提出)

Regional Development Advisory Program For Luang Namtha Province, Lao PDR
Luang Namtha: Find Your Future from Your Past

ルアンナムター県で 検討・開発中の事業群



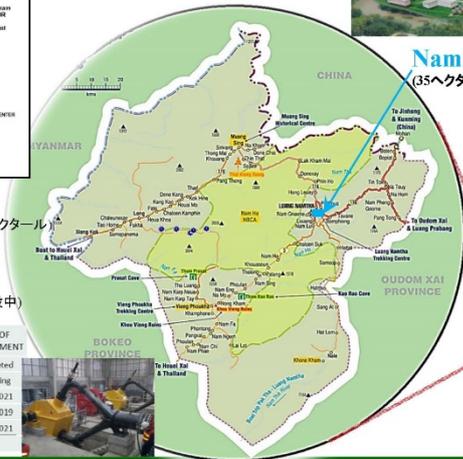
Namthaカルチャーパーク

(35ヘクタール、50年間のコンセッション権)



物流拠点

(ミャンマーの国境にある23ヘクタール)



高速道路

(ASEANインド回廊の一部)

ナムハ川の水質浄化

エコツーリズム

水力発電(28MW)

(5つの水力発電プロジェクトの可能性、1つは稼働中、1つは建設中)

PROJECT NAME	CAPACITY (MW)	ENERGY OUTPUT (Gw/Year)	PROJECT COST (\$ M)	YEAR OF DEVELOPMENT
Namlong 1 Hydro Power	5.6	37.00	16.0	Completed
Namlong 2 Hydro Power	9.5	47.07	28.2	On-Going
Namlong 3 Hydro Power	4.0	21.00	10.0	2019-2021
Namlong 4 Hydro Power	4.5	28.50	12.0	2017-2019
Namlong 5 Hydro Power	5.0	24.00	12.0	2019-2021
TOTAL	28.6	157.57	78.2	



27

Copyright ©2020 CHODAI Co., Ltd. All Rights Reserved